

平成 18 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 常 磐 興 産 株 式 会 社  
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 齋 藤 一 彦  
 コ ー ド 番 号 9 6 7 5 東 証 1 部  
 問 い 合 わ せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 秋 田 龍 生  
 問 い 合 わ せ 先 電 話 番 号 0 3 - 3 6 6 3 - 3 4 1 1

「平成 18 年 10 月度月次売上概況（速報）」についてのお知らせ

平成 18 年 10 月度月次売上概況（速報）について、下記のとおりお知らせいたします。

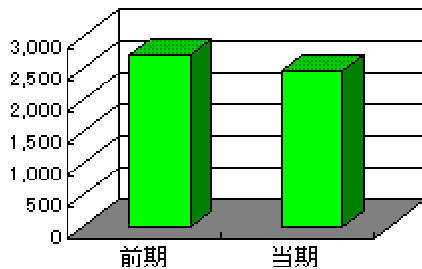
記

◇売上高（単体）

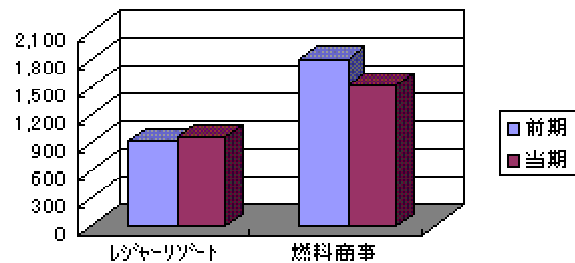
（単位：百万円）

区 分	10 月 度		当 期 累 計	
	自)平成18年10月1日 至)平成18年10月31日		自)平成18年4月1日 至)平成18年10月31日	
	当 期	前 年 同 期 比	当 期	前 年 同 期 比
レジャーリゾート事業部門※1	961	104.5%	8,029	101.4%
スパリゾートハワイアンズ	806	103.8%	6,982	100.8%
ホテルクレスト札幌	41	109.2%	311	108.0%
クレストヒルズゴルフ倶楽部	79	101.9%	525	99.8%
山海館※1	34	128.3%	211	120.9%
燃料商事事業部門	1,516	83.9%	8,142	96.1%
合 計※1.2	2,477	90.9%	16,171	98.7%

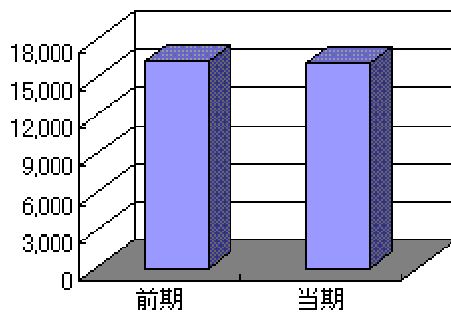
10月度売上高(全社)



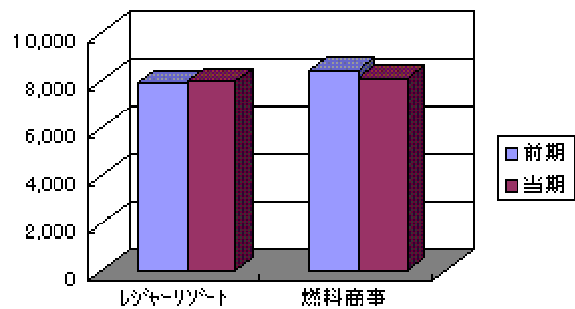
10月度売上高(事業部門別)



当期累計売上高(全社)



当期累計売上高(事業部門別)



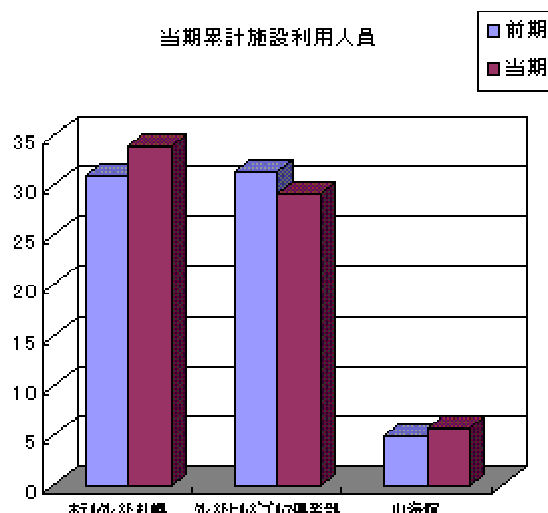
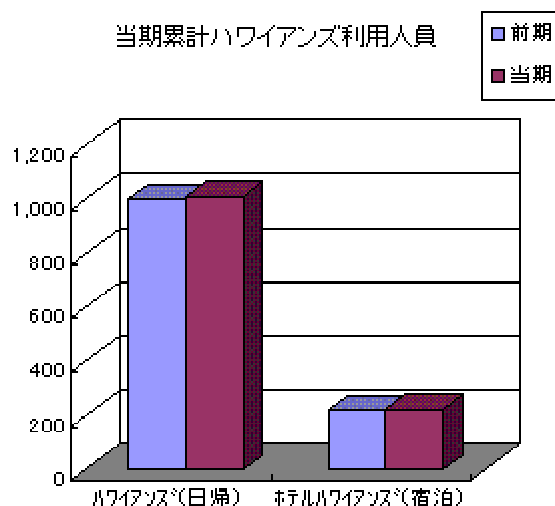
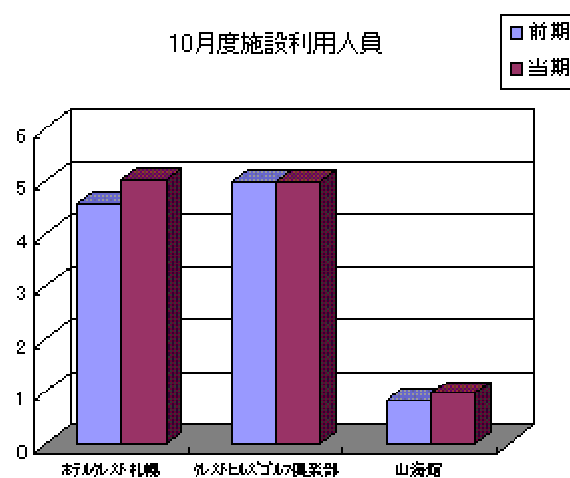
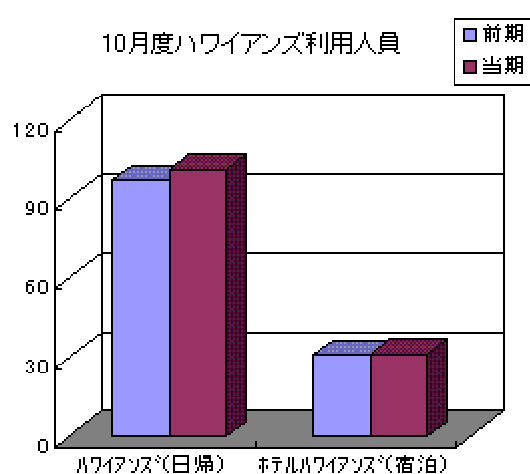
◇利用人員（レジャーリゾート事業部門）

（単位：千人）

区 分	期 別	10 月 度		当 期 累 計	
		当 期	前 年 同 期 比	当 期	前 年 同 期 比
ハワイアンズ（日帰）		101	104.0%	1,013	101.0%
ホテルハワイアンズ（宿泊）		31	101.6%	224	100.6%
ホテルクレスト札幌		5	109.5%	34	109.5%
クレストヒルズゴルフ倶楽部		5	100.2%	29	92.7%
山海館※1（宿泊）		1	114.9%	6	116.9%

※1 株式会社山海館は、平成 17 年 5 月 1 日に当社と合併いたしました。前年同期比較（累計）には、前年 4 月の売上高、宿泊者数を含めた数値を用いております。

※2 開発事業部門は、平成 18 年 2 月 1 日に会社分割いたしました。前年同期比較には開発事業部門の売上高を除いた数値を用いております。



◇コメント：平成18年10月度売上高について

レジャーリゾート事業部門におきましては、ハワイアンズ（日帰）は、9月23日に全国公開されました映画『フラガール』とともに積極的な自社広報活動等により、昭和48年以来の月間利用者数は10万人を突破し、101千人（前年同期比104.0%）となりました。ホテルハワイアンズ（宿泊）は、前期同様高い客室稼働率を維持し、1日当たり約1,000名の宿泊者数を数え、31千人（前年同期比101.4%）となりました。クレストヒルズゴルフ倶楽部におきましては、地元圏の大型コンペの受注が順調に推移し、5千人（前年同期比100.2%）となりました。ホテルクレスト札幌におきましては、道外観光客の集客が順調に推移し、約90%の高い客室稼働率となり、5千人（前年同期比109.5%）となりました。山海館におきましては、常磐沖のブランド『鮫鱈』の一足早い商品化により、1千人（前年同期比114.9%）となりました。この結果当部門の売上高は、961百万円（前年同期比104.5%）となりました。

燃料商事事業部門におきましては、石炭部門がほぼ前年並みに推移する一方、石油部門は販売数量が減少し、売上高は1,516百万円（前年同期比83.9%）となりました。

以上により、全体の売上高は2,477百万円（前年同期比90.9%）となりました。

※注 速報数値については、確定数値ではありませんので、若干変動する場合があります。

以 上